

G P Aに関する客観的な指標の算出方法

(G P Aの算出方法)

- 1 本校のG P Aは、入学時から履修し単位修得した科目のすべてを対象に累積G P Aとして算出する。
- 2 本校が導入するG P Aの算出式は、下記に示すとおりとする。
 - (1) 授業科目の評価点に応じて5段階（4、3、2、1、0）の数値を設定する（詳細3項参照）。これを、G P（Grade Point）とする。
 - (2) 履修し単位修得した科目のG Pに、科目の単位数をかけた値を取得G Pとする。
 - (3) 取得G Pの総和を、履修し単位修得した科目の単位の総和で割ったものを累積G P Aとする。
 - (4) G P A算出の際の留意事項を以下のとおりとする。
 - ① G P Aの計算は、小数点第3位以下を四捨五入するものとする。
 - ② 履修を中止した科目や不合格となった科目は、計算式に含まない。
 - ③ 再試験で合格の認定を受けた科目は、その評価点にかかわらず60点となることから評定は「可」となりG Pは「1」となる。
 - ④ 再試験で不合格となった科目の評定は「不可」となることからG Pは「0」となる。
- 3 成績評価とG Pの関係は以下の表のとおりとする。

認定	評定	GP	評価点	学修達成度
合格	秀 (S)	4	90 ~ 100 点	ほぼ完全に達成
合格	優 (A)	3	80 ~ 89 点	十分に達成
合格	良 (B)	2	70 ~ 79 点	概ね達成
合格	可 (C)	1	60 ~ 69 点	最低限達成
不合格	不可 (D)	0	0 ~ 59 点	単位認定は不適當

- 4 G P A算出の例を以下に示す。

例) 学生Aさんの成績

科目	単位	修得単位	評価点	評定	GP	取得 GP	備考
論理学	1	1	92 点	秀	4	$4 \times 1 = 4$	
教育学	1	×	58 点	再試験対象	/	/	再試験受験
		1	(再) 60 点	可	1	$1 \times 1 = 1$	再試験の結果合格
看護物理学	1	1	80 点	優	3	$3 \times 1 = 3$	
情報科学	1	1	75 点	良	2	$2 \times 1 = 2$	
社会学	1	×	52	再試験対象	/	/	再試験受験
		×	(再) 58 点	再試験不合格	0	/	再履修対象

日常生活援助技術 I	1	1	85 点	優	3	$3 \times 1 = 3$	
日常生活援助技術 II	2	2	78 点	良	2	$2 \times 2 = 4$	
合計	8	7				17	

[学生 A さんの GPA の算出]

取得 GP の総和 (17) \div 履修し単位修得した科目の単位の総和 (7) = 2.43
よって、GPA は 2.43 となる。